



ゆめひろば

令和7年12月19日

文責 佐野 良

12月号 No.9



～児童会活動「協力ゲーム」の様子～

子どもたちの学びを考える・・・

学校では、授業の中で「対話」を大切にしています。対話については、これまでも学習の中に取り入れて行ってきました。学びの質を高めることや学びを深めるうえでもやはり「対話」は必要な要素となります。「対話＝話し合い」と思い浮かぶ人が多いですが、ここでいう「対話」は、自分自身の頭の中で問答することや、先生との会話、友だち同士の話合いなど様々な状況があげられます。

コロナウイルス感染症が流行していた時には、この「対話」が制限されていました。私たち教職員も何とか子ども同士の意見交流ができないものかと模索していました。その時に導入されたのが児童用端末（パソコン）でした。密を回避しながらも、端末を通しリアルタイムに子ども同士が言葉（意見）のやり取りを行えることが可能になりました。端末の導入で、短時間で学級全体との意見交流ができるようになったことも大きな進歩となりました。

多様な考えに触れる、多様な考え方ができることがこれからの学習を進めるうえで必要になってきます。これまでの授業スタイルに端末を含めた ICT 機器の活用を取り入れ、様々な形で「対話」を活用して子どもたちの学びを深めていきたいと思えます。

児童会選挙活動を通して～常永小の伝統を引き継ぐ～

11月28日に、来年度の児童会役員を決める児童会選挙の立会演説会と投開票が行われました。各候補者は、最後の最後まで自分のめざす常永小学校児童会の姿を有権者に訴えかけていました。立候補し



た児童や責任者はもちろんですが、演説を聞く子どもたちも全員が真剣に向き合っていました。この姿はこれまで常永小の児童が築き上げてきたよい伝統であり文化だと感じました。有権者一人ひとりの思いを受け止め、来年度の児童会を盛り上げていってほしいと思います。また、児童会選挙活動において、候補者だけの頑張りではなく、それを支える責任者や学級の仲間、選挙管理委員会の児童が支えてくれたことも強く印象に残りました。

節目を大切に、そして振り返りをしっかりと！～新年を迎えるにあたって～

25日から冬休みが始まります。2学期が終わると同時に今年1年が終わる時期でもあります。子どもたちには、終業式に担任から2学期の「あゆみ」をお渡しします。自分が2学期の学校生活で頑張ってきたことの一つの証になります。成長できた部分もあれば、課題もきっとあると思います。課題について振り返るのは気が重いものですが、繰り返さないため、成長するためにはどこを直せばいいのか明らかにすることが必要です。その振り返りをする機会がこの節目の時期だと思います。2学期の生活を、そして1年の自分の歩みを振り返り、新たな年、新たな学期に向けて目標が持てるといいですね。子どもたち一人ひとりが頑張れた2学期でした。

冬休みに入ると普段の生活とは違った年末年始ならではの行事もあると思います。多くの経験をする中で、充実した休みを過ごしてください。



1月のおもな予定（詳しくは各学年だよりをご参照ください。）

- 8日(木)～冬季休業日終了
- 9日(金)始業式
- 13日(火)集金日
- 14日(水)給食開始
- 15日(木)体重測定4/5/6年 アルミ缶 PBC 回収日
- 16日(金)体重測定1/2/3年
- 19日(月)5・6年スキー教室 きずなの日
- 20日(火)学級役員・児童会認証式 牛乳パック回収日
- 21日(水)短縮4校時
- 26日(月)委員会活動 きずなの日
- 28日(水)新入生保護者説明会 短縮5校時
- 29日(木)PTA 広報部会
- 30日(金)PTA 地区会議 PTA 広報部会